

学 科	作業療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	身体障害治療学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	昼間部2年	学期	後期	教室名	801
担当教員	永田作馬 吉田篤史 竹林弘平				
実務経験と その関連資格	<p>永田作馬：一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、外来リハを有する病院で勤務。毎日2～3名の脳血管疾患患者を担当し、年間延べ500件以上の作業療法を経験している。第34回大阪作業療法学会 教育講演 講師、第43回日本作業療法学会「発症後長期経過した脳卒中片麻痺患者における身体像の変化と上肢機能の関連性について」日本作業療法士協会認定作業療法士。大阪府作業療法士会副会長。</p> <p>吉田篤史：上記職場の回復期病棟に従事し、多くの整形外科疾患の作業療法を経験している。特に大腿骨頸部骨折の作業療法プロセスを構築して、研修にて報告している。大阪府作業療法士会就労支援委員</p> <p>竹林弘平：約10年ハンドセラピーを経験。地域のハンドセラピー勉強会の運営、企画を実施。第51回日本作業療法学会『Tension band wiring術後、wireのback outが肘関節伸展制限に及ぼす要因について』第32回ハンドセラピー学会『Zone II 屈筋腱損傷に対して2段階腱移植術後早期運動療法を行った一例』報告。泉州リウマチコメディカルカンファレンス講師、日本リウマチ財団登録作業療法士。大阪府作業療法士会泉州ブロック長</p>				
《授業科目における学習内容》	<p>主に中枢疾患などの身体障害に対する作業療法評価、治療を習得する。障害発生メカニズム、脳血管障害の発生に関して 脳血管障害の概要(病態・障害像・時期別目標)、運動麻痺、運動麻痺の評価、脳血管障害患者のBADL・ADL・IADLについて、脳血管障害患者に対する治療をイメージし、理解する。</p> <p>整形外科疾患として手の骨折や大腿骨頸部骨折を中心とした病態把握、評価、治療の流れを理解する</p>				
《成績評価の方法と基準》	<p>1. 定期試験 90%</p> <p>2. 授業に臨む姿勢 10%</p>				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>標準作業療法 身体機能作業療法学 第4版 脳・神経系リハビリテーション: 潮見泰蔵 編, 羊土社, 2014. ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版: 田崎義昭, 斉藤佳雄 著, 坂井文彦 改訂, 南山堂, 2018.</p>				
《授業外における学習方法》	<p>授業前及び、授業終了後に教科書を読むことで理解が深まります。 評価については、授業時間以外にも実技練習を行い、評価方法を深く理解することが必要になります。</p>				
《履修に当たっての留意点》	<p>実習に向けて、評価・治療の一連の流れを学んでもらいます。知識と技術を結びつけるため、授業内容の理解が必要です。そのため、わからないことは教員やクラスメイトに質問することやグループワークを通じて理解を深めて下さい。</p>				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	治療とは何かを理解する。	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション・作業療法の流れ・治療とは①			
第2回	授業を通じての到達目標	脳血管障害の病態や障害像が分かる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	脳血管障害の概要(病態・障害像)			
第3回	授業を通じての到達目標	脳血管障害の各病期における評価を列挙できる	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	脳血管障害の評価について			
第4回	授業を通じての到達目標	教科書やプリントを見ながら上田法を実施できる	教科書・参考書	上田法の実技練習を行い、理解を深めておく	
	各コマにおける授業予定	運動麻痺の評価(上田法)①			
第5回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における上肢の具体的な訓練を考案する事が出来る	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	上肢の重症度に合わせて訓練の紹介 グループワークの検討			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における生活のしづらさをイメージできる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	脳血管障害のBADL・ADL・IADL①		
第7回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における生活のしづらさをイメージし、作業療法アプローチを考えられる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	脳血管障害のBADL・ADL・IADL②		
第8回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における生活についてMTDLPでまとめる事が出来る	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	提供事例をもとにMTDLPを経験するグループワークで検討する		
第9回	授業を通じての到達目標	小脳機能障害・頭部外傷に対するアプローチを考えられる	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	小脳機能障害・頭部外傷の概要(病態・障害像・評価・治療)		
第10回	授業を通じての到達目標	整形疾患の基礎知識を習得する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	整形疾患に関する作業療法評価、治療の流れを説明する		
第11回	授業を通じての到達目標	上肢の骨折における作業療法を理解する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	上肢骨折の病態と治療の説明・体験		
第12回	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折に対する作業療法を理解する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折に対する病態と治療の説明・体験		
第13回	授業を通じての到達目標	ハンドセラピーに必要な基礎知識を習得する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	ハンドセラピーに必要な解剖、評価の説明		
第14回	授業を通じての到達目標	損傷における作業療法を理解する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	各病態に対する治療手技の紹介、体験		
第15回	授業を通じての到達目標	抹消神経損傷における作業療法を理解する	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	各病態に対する治療手技の紹介、体験		